

いきものいっぱいのひみつ基地づくり ～人と自然が共生！ハサンベツ里山 火薬庫の沢流域整備作戦～



栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会

栗山町の概要

- 札幌市や港湾苫小牧市、新千歳空港に約1時間の道央圏に位置し、国道や鉄道が通る交通の拠点として中心市街地が形成され、アクセスの良さが魅力。
- 1985（昭和60）年夏、理科郷土副読本作製の為のフィールドワーク中に、オオムラサキを発見。住民が中心となってオオムラサキの保護活動が始める。
- オオムラサキをシンボルとしてまちづくりを進め人と自然が共生するまちづくりを進めている。

町名の由来

ヤム・ニ・ウシ（アイヌ語）

= 栗の木の繁茂しているところ



ハサンベツ里山計画実行委員会

ハサンベツ里山計画実行委員会の歴史

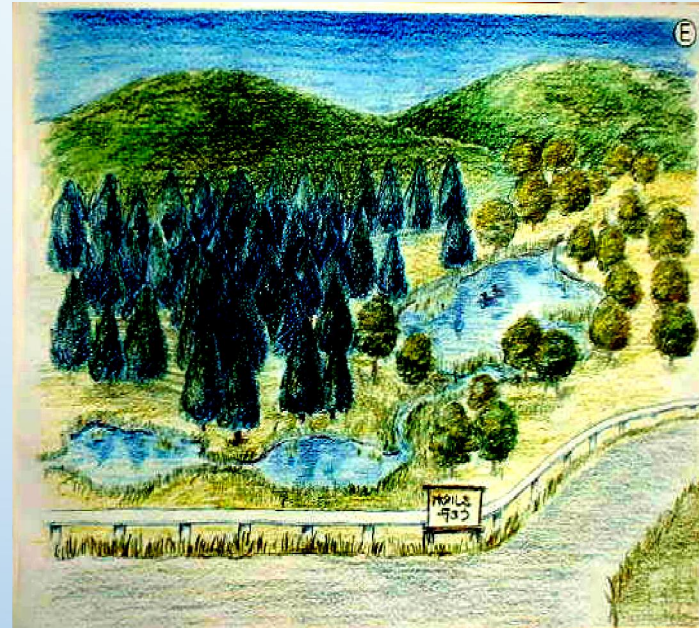


- 環境庁補助を受けハサンベツ地区約24haを購入（1999年）
- 町民主体で「里山づくり20年計画」を策定（2001年）
- 童謡のみえる里山づくり
- 毎月第2日曜日は「ハサンベツ里山の日」として町民ボランティアによる環境整備や農作業などを行っている
- 町内外小中学生等の体験学習の場として利用され（年間約3,000人）小川での生き物観察や田植えなどの体験ができる

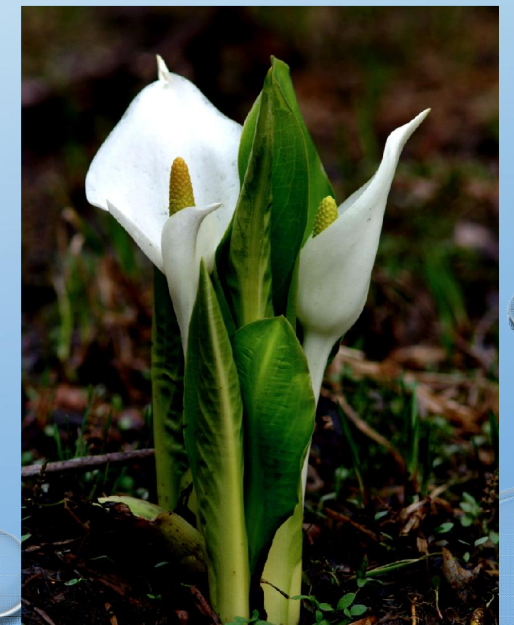


ハサンベツ里山計画実行委員会

童謡のみえる里山づくり



- 「春の小川はさらさら」プロジェクト
 - 「ホーホーホテルこい」プロジェクト
 - 「ミズバショウの花がさいている」プロジェクト
- など童謡がみえる里山づくりを実施



深刻な課題

ハサンベツ里山計画実行委員会メンバーの高齢化！！！！！！

- 発足から20年活動が続けてきたが、当時50歳だったメンバーももう70歳
- 5月～11月の第2日曜日のハサンベツ里山の日の参加者も減少
- このままだと、保全活動に関わる人がいなくなってしまう。



なかなか、中心となって活動してもらえる人は見つからない・・・

発想の切り替え

子どもと一緒に体験しながら活動してくれる人を増やそう！！！！

- 子どもたちと
- たのしく
- 地域の活性化



まずは、関係者をふやしていこう！！！！

いきもののいっぱいので 体験できる環境整備

ハサンベツ里山春の小川 生きもの豊かな川づくり



- 生きもの豊かな川づくり
石組み作業（市民による体験活動）
- ミズバショウの里づくり
ミズバショウの苗植え、生態調査、鑑賞会
- ホタルの沢づくり
ヘイケボタルの生態調査、飼育・放流、鑑賞会
カワナナの飼育・放流、生態調査



いきもののいっぱい ひみつ基地づくり

大人が協力して、子どもの自由な発想を



- 火薬庫の沢と呼ばれる手つかずの自然が残る場所
- 自然の中で子ども達の自由な発想でひみつ基地を作っていく。
- 子どもだけでできないところは大人も協力。



次代を担う人材の育成 新たな協力者の発掘

河川に対する意識改革作戦

ふるさとの川をきれいな川へ



- 町の中心部を流れる夕張川と雨煙別川
- 毎年河川清掃をしても減らないゴミ
- 町民の意識改革が必要

生きもの豊かな川へ町民を巻き込んだ活動展開



ハサンベツ里山計画20年目の集大成



これまでの20年の活動を引継ぎ、

これからの20年に向けて・・・